

<H22-No21：地図編集：問題>

次の文は、地図投影法について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 地図投影法は、三次元立体である地球の表面上に存在する地物の位置や形をできるだけ正しく平面に描くために考えられたものである。
2. 正距図法は、地球上の距離と地図上の距離を正しく対応させる図法であり、すべての地点間の距離を同一の縮尺で表示することが可能である。
3. 正角図法は、地球上と地図上の対応する任意の二方向に引いた方向線のなす角が等しくなる図法であり、海図や航空図などに用いられることが多い。
4. 正積図法は、地球上の任意の範囲が、その面積の比率を保持したまま地図上に表示される図法である。
5. 地図上において、正角図法と正積図法の性質を同時に満足させることは、理論上不可能である。

<H22-No22：地図編集：問題>

我が国は、世界でも有数の火山国である。火山災害対策上、過去における噴火年、溶岩の流出量及び流出面積、被害状況など、火山活動の記録を調べておくことは重要である。

図 22 は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図の一部(原寸大、一部を改変)である。図中の切り立った崖に囲まれた火口は、平成 12 年に開始した三宅島の噴火の際に形成されたものである。

この「火口」の面積に最も近いものはどれか。次の中から選べ。

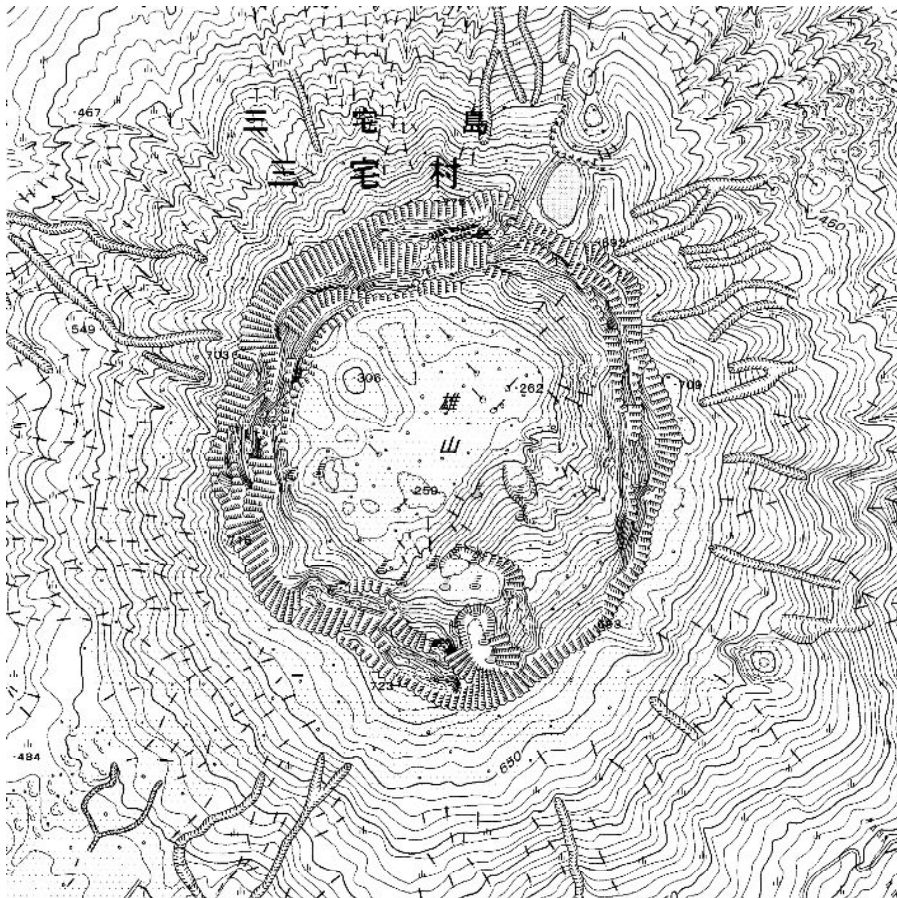


図 22

※印刷の関係上、縮尺が正しく表示されない場合があります。

1. 1.4 km²
2. 2.0 km²
3. 2.6 km²
4. 3.2 km²
5. 3.6 km²

<H22-No23：地図編集：問題>

図 23 は、ある市の一部を示した国土地理院発行の 1/25,000 地形図の一部(縮尺を変更、一部を改変)である。次の a～g の文は、この図に表現されている内容について述べたものである。

明らかに間違っているもの又はこの図を見ただけでは分からないものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. この図右下の滑川の流水方向は、おおむね東から南西の方向である。
- b. この図の中で、神社の数は寺院の数より多い。
- c. この図の中には、史跡・名勝・天然記念物記号が有る。
- d. 市役所は鉄道駅の西側に在る。
- e. 鉄道駅の東側に交番が有る。
- f. この図に描かれた鉄道は、すべて J R 線である。
- g. この市の大きな寺院は、すべてこの図の中に描かれている。



図 23

- 1. a, b, c
- 2. a, f, g
- 3. b, c, g
- 4. b, f, g
- 5. d, e, f

<H22-No24：地図編集：問題>

次の文は、地理情報システム及びそこで用いられる、位置に関する情報を持ったデータ（以下「地理空間情報」という。）に関する事項について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 地理情報システムは、地理空間情報を管理・加工し、高度な分析を可能とする情報システムである。
2. ラスタデータからベクタデータへのデータ変換を行う場合、元となるラスタデータ以上の位置精度を得ることはできない。
3. メタデータは、地理空間情報の有無や所在などの入手方法をクリアリングハウスで検索するためのものであるので、引用情報や地理空間情報の作成目的などのデータの入手に関係がない情報はメタデータに記載すべきではない。
4. 地理情報システムでは、ベクタデータを用いて面積計測や経路検索を容易に行うことができる。
5. 地理情報標準は、地理空間情報の設計方法、品質の考え方などのルールを定めたものである。